

というハングル IME で 2 ボル式キー配列で入力する方法

2008 年 8 月 10 日 chiyu@sings.jp

Windows XP 標準のハングル IME でも特に問題はないのですが、私の使っているノートパソコンには右 Alt キーがついていません。ということは、右 Alt キーを使ってハングル/英文入力切り替えができず、その都度マウスを使って切り替えることとなります。これは私には不便に感じます。

というハングルIMEでは、左Shift + Spaceでハングル/英文を切り替えます。そのため、私のつかっているノートパソコンでもキー操作で切り替え可能です。また、漢字変換も、単漢字変換ではありますが日本語 IME と使い方が似ています。

は次のサイトから入手できます。

<http://moogi.new21.org/>

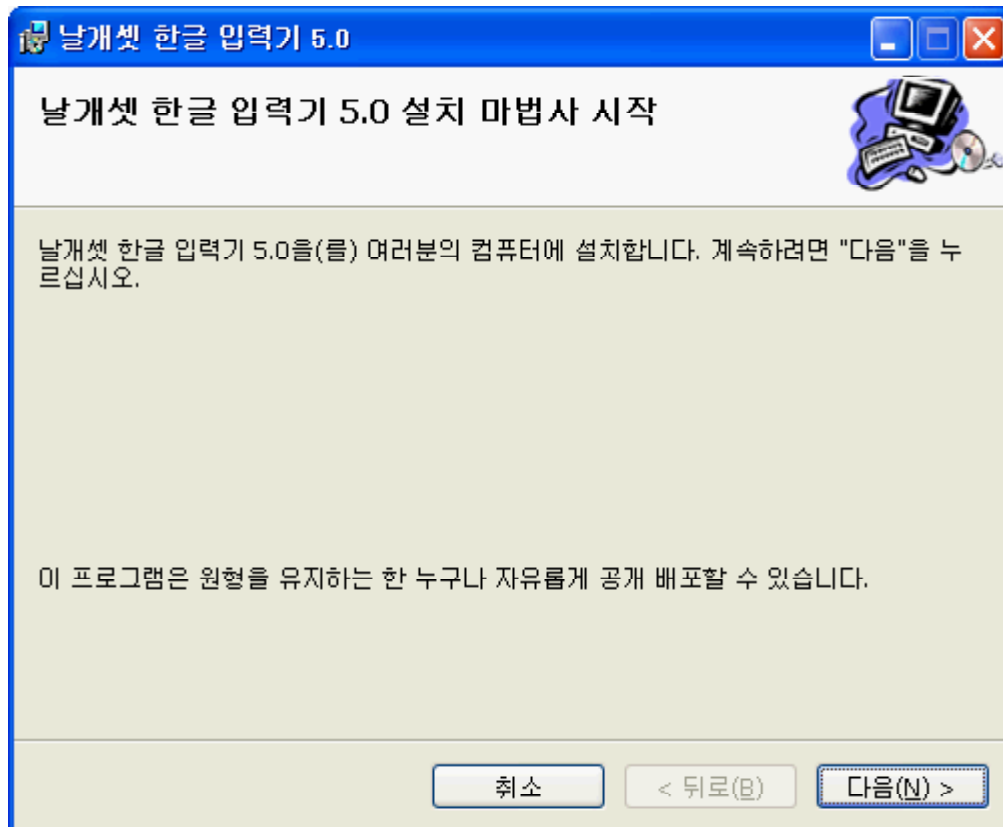
2008年8月10日現在、< > 5.0が最新版のようです。

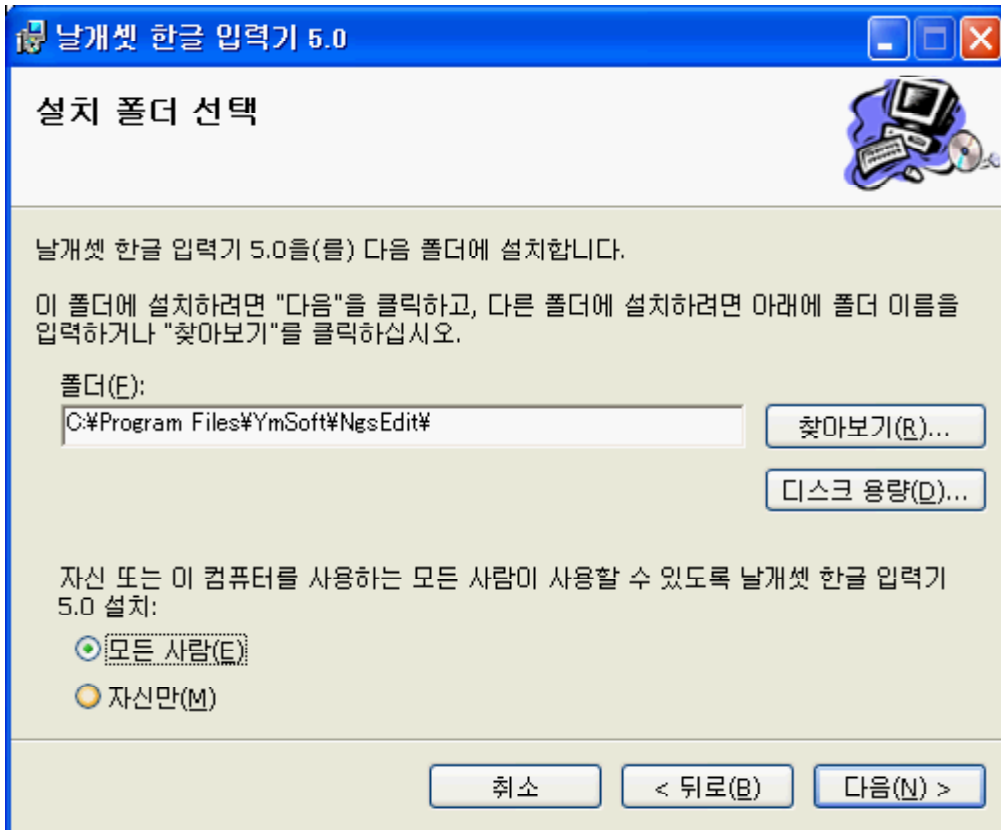
<http://moogi.new21.org/prg4.html>

ここの NgsSetup.msi がそうです。

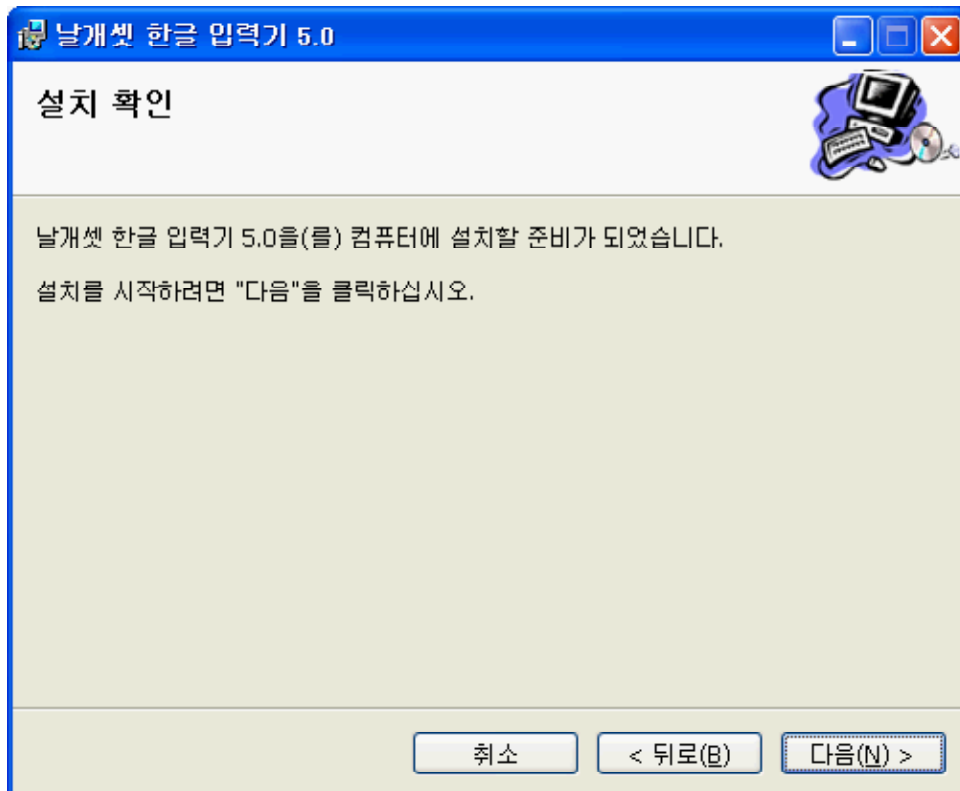
1. インストール

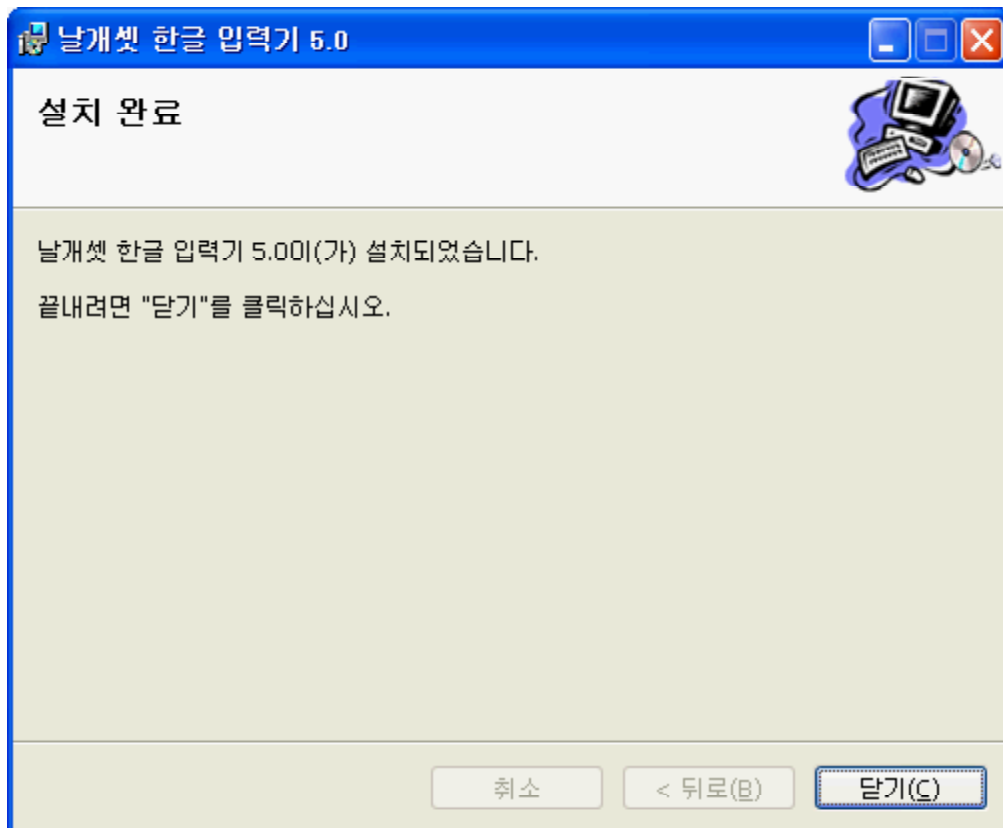
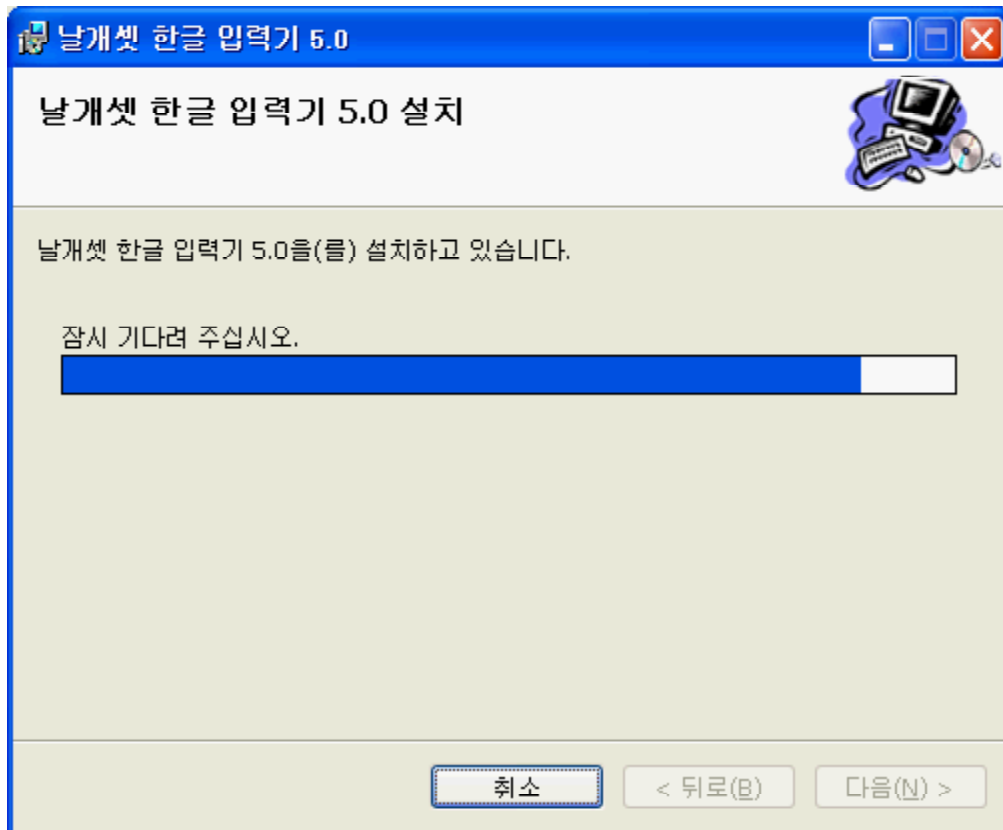
インストールは簡単です。ファイルをダブルクリックして、





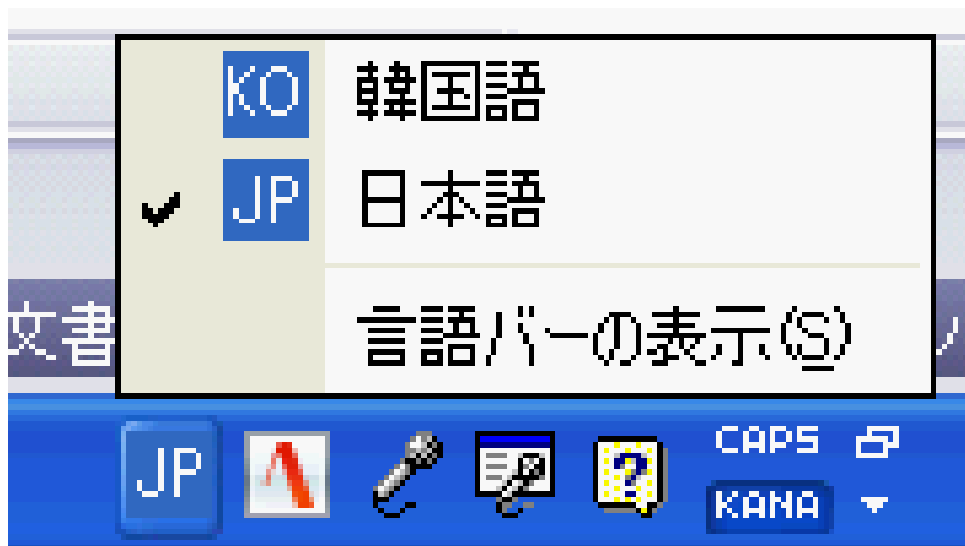
ここで、使用者を自分だけにするか((M))、すべてのユーザーにするか((E))を指定します。



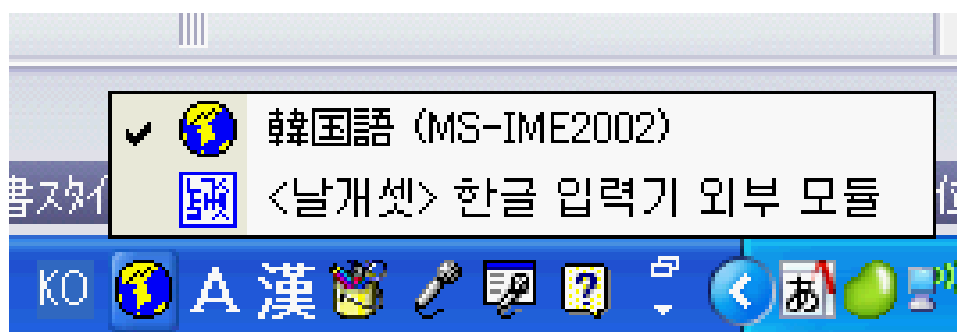


2.2 ボル式の設定

既にハングル IME をインストールしていれば、下の画面の様に日本語 IME とハングル IME を切り替えることはご存じと思います。



ハングル IME にすると、地球儀マークが追加表示されており、これをクリックすると、2つのハングル IME を選択できることがわかります。



これが を選択した画面です。

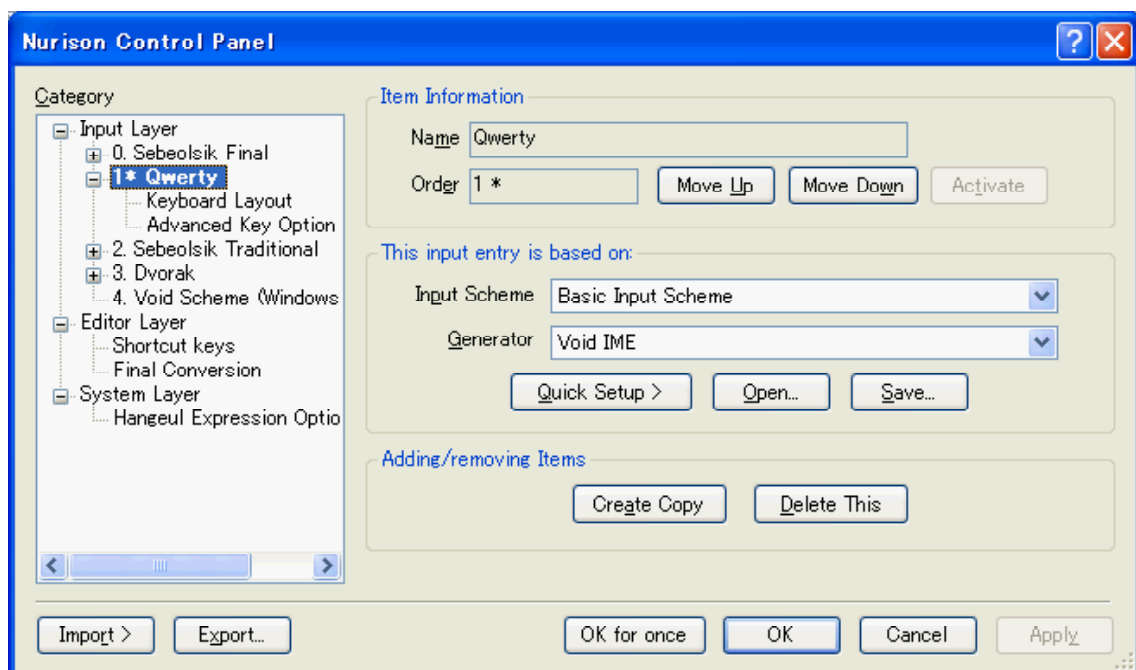


左 Shift + Space でハングル/英文入力を切り替えることができます。

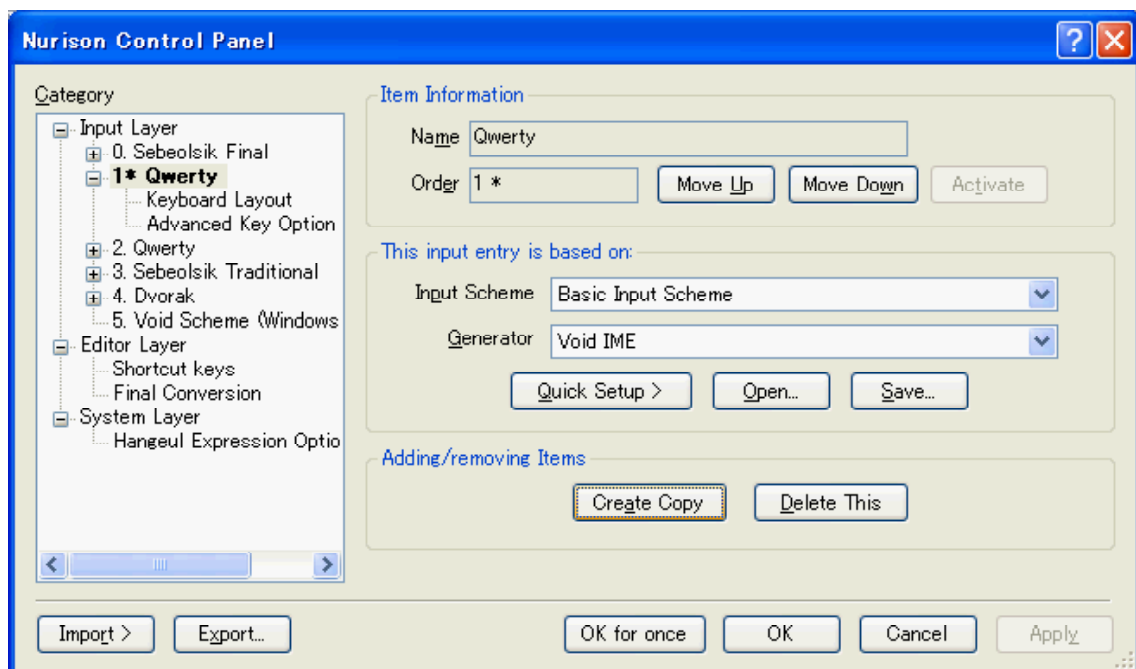
しかし、ここでのハングルは3ボル式キー配列になっています。(本来、3ボル式用のIMEのなです。)

以下で、2ボル式入力の設定をします。

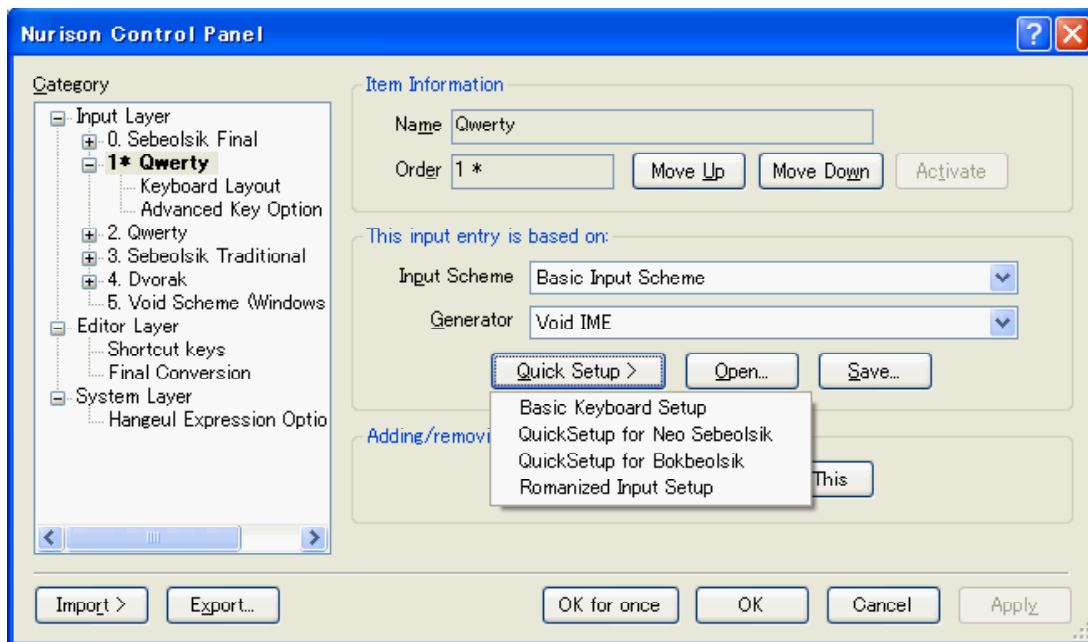
まず、上の画面でトンカチのアイコンをクリックして、設定画面を表示させます。



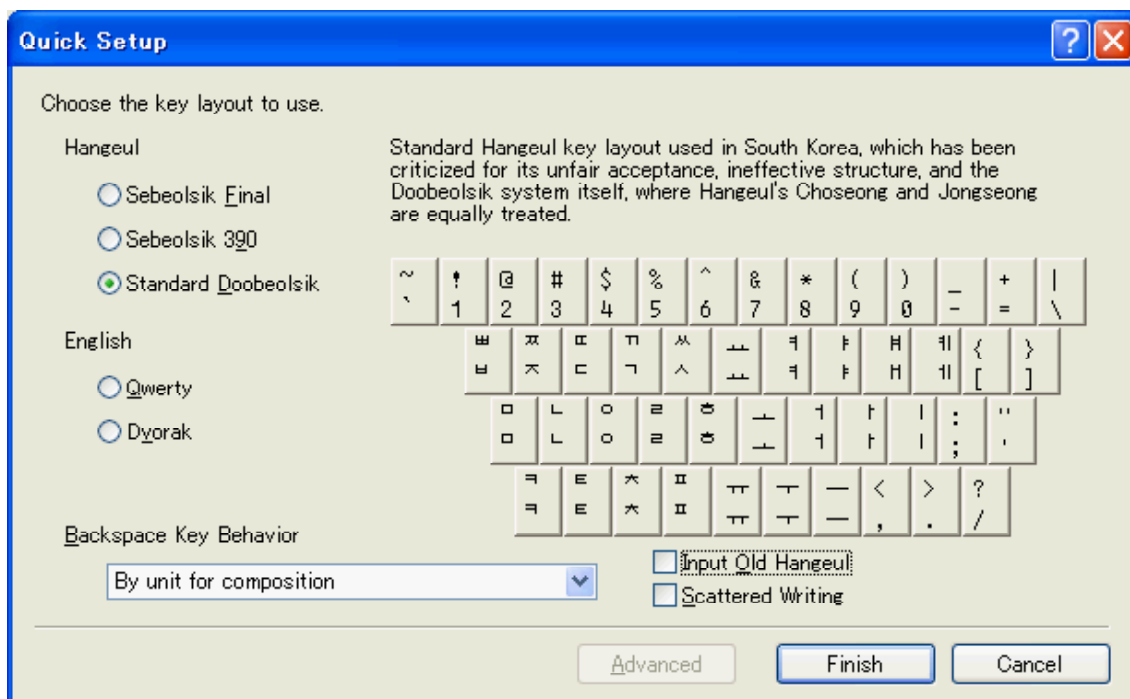
「Create Copy」をクリックして、Input Layer を一つ追加します。



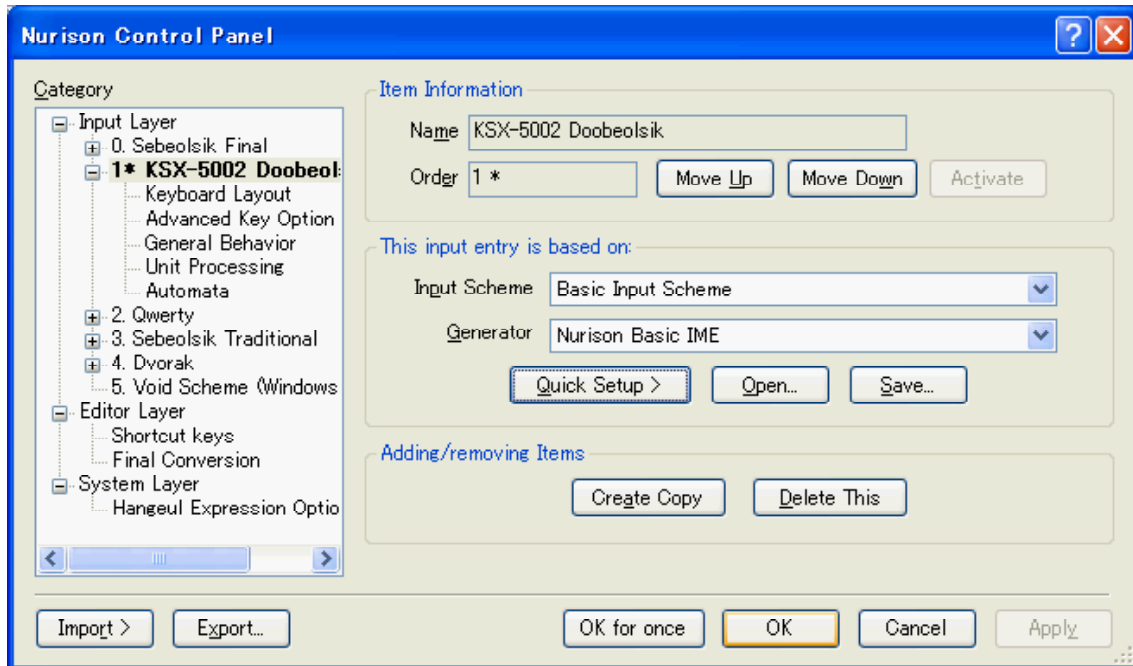
「Quick Setup」をクリックし、選択肢から「Basic Keyboard Setup」をクリックします。



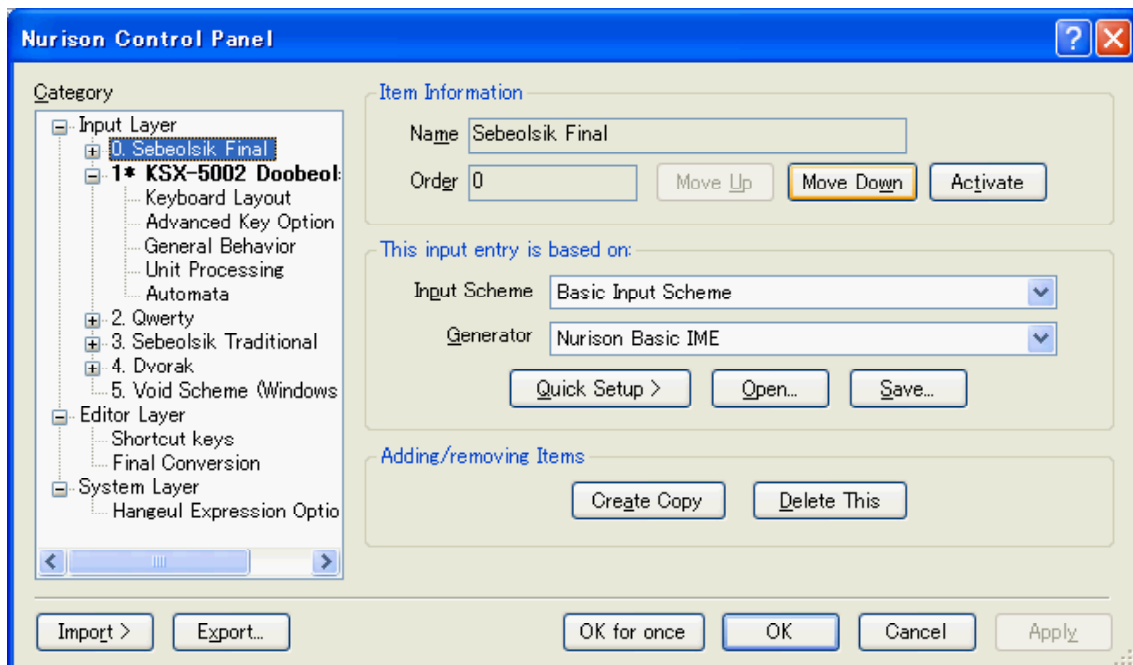
「Hangeul」で「Standard Doobeolsik」を選択して、「Finish」をクリックします。
 (Doobeolsikは のことです。Sebeolsikは です。)



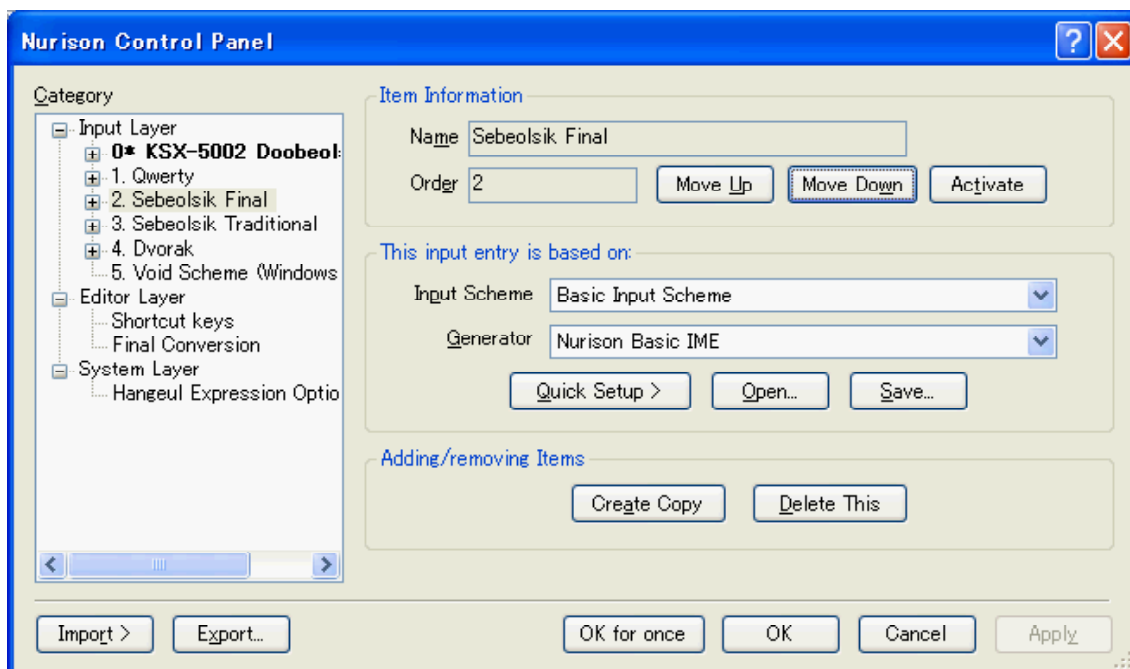
2 ボル式が追加されたのが分かります。このままでは 0 番目が 3 ボル式最終、1 番目が 2 ボル式です。左 Shift + Space で切り替わるのは 0 番目と 1 番目なので、これでは不便です。



0 番の Sebeolsik Final をクリックして、「Move Down」を 2 回クリックして、下に移動させます。



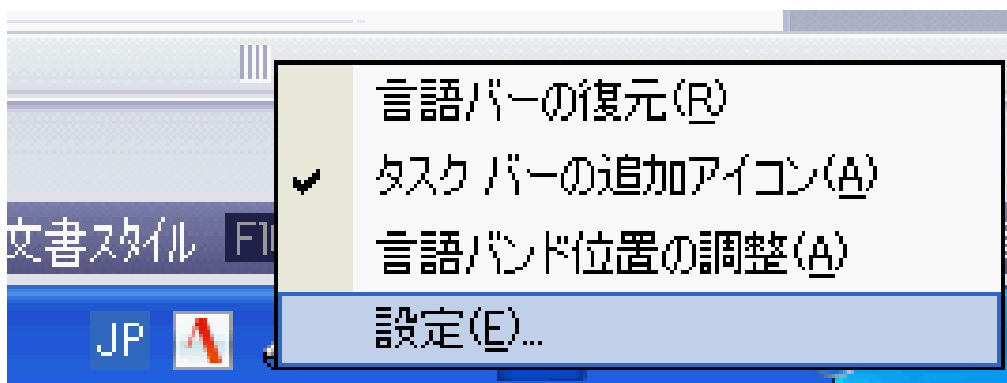
0番が2ボル式、1番がQwerty(英語キーボード)になったので、「OK」をクリックして終了します。



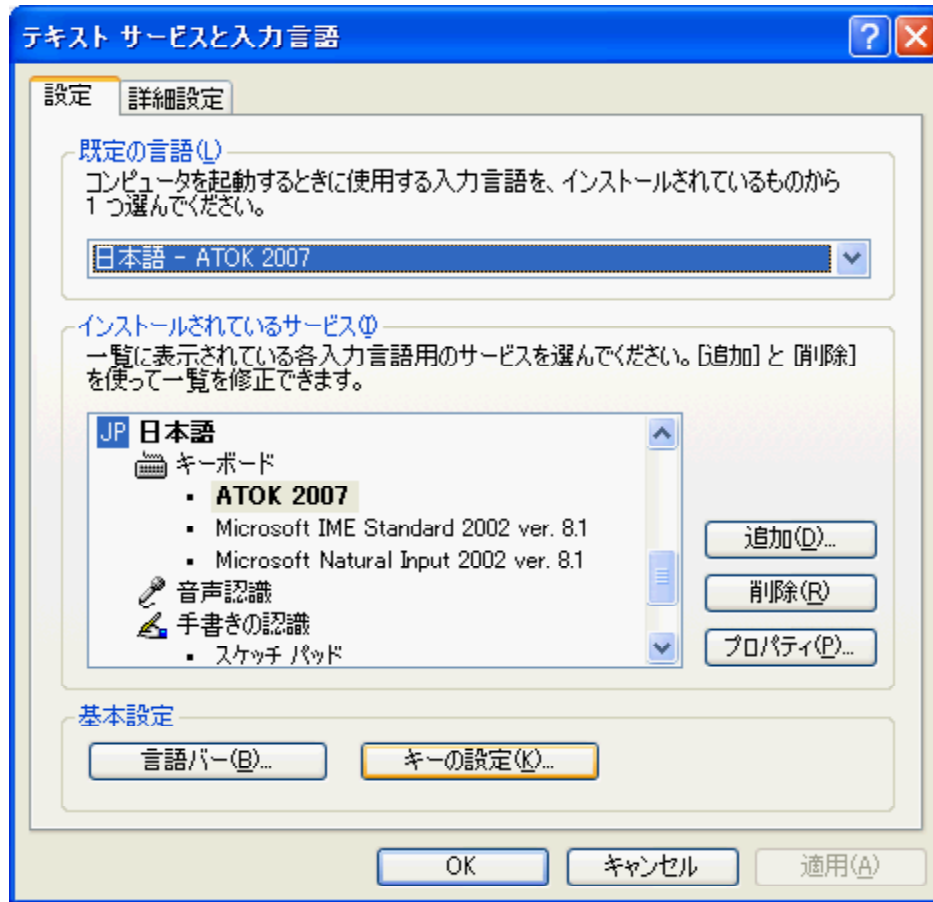
3. ホットキーの設定

もしも、たくさんの言語用のIMEを登録していると、IMEの切り替えが大変です。ホットキーを設定すると便利かもしれません。

言語バーを右クリックして、設定画面を表示させます。



「キーの設定(K)..」をクリックします。



の場合、Nurison Input System を選択し、「キーシーケンスの変更(C)...」をクリックします。



以下のように設定した場合は、左 Alt + Shift + 1 で に切り替えることができます。

